

教育広報

かけはし

第95号 平成23年12月16日発行

発行/千代田区教育委員会 編集/子ども・教育部子ども総務課

代表電話3264-2111 <http://www.city.chiyoda.lg.jp/>



平成23年10月13日

「小中陸上競技大会」にて

主な記事

- ☆ 心の教育の推進
- ☆ 千代田区立学校の連合行事
- ☆ 平成24年度から区立中学校・中等教育学校前期課程で使用する教科書が決まりました
- ☆ 九段中等教育学校の出前授業
- ☆ 特別支援教育の推進
- ☆ 地域と繋がる児童館まつり 2011
- ☆ (仮称) 昌平幼保一体施設が開設します
- ☆ インフルエンザ予防



写真：千代田区教育委員会
千代田区広報広聴課

心の教育の推進

教育委員会では、子どもたちが豊かな人間性を育み、他人を思いやる心と規範意識や社会生活上のルールを守るなどの社会性を身に付けられるよう、各学校と家庭・地域が連携した取組や、児童・生徒の体験活動を充実させることにより、心の教育の推進に取り組んでいます。

○心の教育コーディネーター派遣 (全学校)

道徳教育の専門家を区立学校に定期的に派遣し、道徳授業の充実・改善を進めるとともに、保護者を対象とした心の教育に関する講演会等を行います。

○道徳授業地区公開講座(全学校)

道徳授業を地域や保護者に公開するとともに、学校・家庭・地域の皆様が「心の教育」について話し合い、児童・生徒の豊かな心の育成と、道徳教育の充実を推進します。



○フレンドシップ・サポート(全学校)

臨床心理の専門家の指導により、ストレスをコントロールしたり他者と交流したりするためのワークショップを行い、子どもたちの社会性の育成を図ります。

○親子で学ぶ「情報モラル」(全学校)

インターネットや携帯電話など情報機器を利用する際に必要なルールやマナーを親子で学び、情報モラルの向上を図ります。



○社会体験・インターンシップ (中学校・中等教育学校)

中学校・中等教育学校2年生全員が、夏の3日間、高齢者福祉施設や保育園等での交流・介助・保育等の実習を行います。

他者と助け合い、豊かな社会を目指そうとする心の育成を図ります。

○「いじめ相談レター」(全学校)

専用封筒を全児童・生徒に配布し、相談できずにいるいじめについて直接教育委員会宛てに手紙で送付してもらうことを促し、いじめの早期発見・早期解決を図ります。



○「いじめ防止クリアファイル」(全学校)

児童会・生徒会の活動の一環として、いじめ防止をPRする絵画や標語等を各校で作成します。

なお、代表作品をクリアファイルに収録して子どもたちに配布しています。

○スクールライフ・サポーター(全小学校)

多様な地域人材を全小学校に配置し、子どもたちの学校生活を教師とともに支援することにより、子どもたちの豊かな人間性や社会性の育成を図るとともに、保護者に対し子育てや学校生活などについて相談やアドバイスをを行います。

千代田区立学校の連合行事

区立学校・園では、豊かな人間性や個性の伸長を目指した文化的行事、体力の向上や運動に対する興味・関心・意欲を高める体育的行事、豊かな自然や子ども同士の共同活動を体験する宿泊行事など、様々な連合行事を実施しています。

ここでは、そのような千代田区立学校・園における連合行事の一端をお知らせします。

○小中陸上競技大会



平成23年10月13日(木)、国立競技場において、区立の小学校6年生、中学校・中等教育学校全学年生徒が参加し、「平成23年度小中陸上競技大会」が開催されました。

この大会は昭和29年から開催されており、今年で56回目を迎えた伝統ある大会です。

当日、子どもたちは、友達や保護者等からたくさんの声援を受け、全力で取り組みました。



【大会新記録】

* 小学校の部

100m走・男子	河上 和樹 (富士見小学校)	13秒10
50mハードル走・男子	酒井 康熙 (麴町小学校)	8秒80
50mハードル走・女子	鈴木 萌 (麴町小学校)	9秒17

* 中学校の部

1,500m走・3年男子	竹山 直宏 (麴町中学校)	4分19秒08
400mリレー・3年男子	小山・岡部・本田・田宮 (九段中等教育学校)	46秒36

○千代田区連合作品展 ~千代田の子どもたち~



平成24年1月27日(金)から30日(月)まで、区役所1階の区民ホールにおいて、開催する展覧会です。

区立の全園・校及び一部私立学校の子どもの、創造性豊かな作品(造形・書写・図画工作・美術・家庭科等)をぜひご覧ください。

(昨年度の様子)



○その他の主な連合行事

行事名	実施時期	実施学年
軽井沢移動教室	4月	中学校・中等教育学校第1学年
孺恋自然体験交流教室	5月・10月	小学校第5学年
箱根移動教室	5月	小学校第6学年
岩井臨海学校	7月	小学校第4学年、中学校第1学年
水泳記録会	9月	小学校第5学年
音楽鑑賞教室	9月	小学校第6学年、中学校・中等教育学校第1学年
合同こども会	11月	保育園・こども園・幼稚園5歳児
孺恋スキー教室	1月～2月	中学校第2学年

平成24年度から区立中学校・中等教育学校前期課程で使用する教科書が決まりました

区立の小・中学校で使用する教科書は、千代田区教育委員会で採択することになっています。今年、中学校・中等教育学校前期課程で使用する教科書を採択する年にあたり、平成24年度から平成27年度までの4年間にわたり使用する教科書を次のように選定しました。

種 目	発行者	書 名
国 語	東京書籍	新しい国語
書 写	東京書籍	新しい書写
社 会（地理的分野）	帝国書院	社会科 中学生の地理 世界のすがたと日本の国土
社 会（歴史的分野）	東京書籍	新しい社会 歴史
社 会（公民的分野）	帝国書院	社会科 中学生の公民 よりよい社会をめざして
地 図	帝国書院	中学校社会科地図
数 学	数研出版	中学校数学
理 科	東京書籍	新しい科学
音 楽（一般）	教育芸術社	中学生の音楽
音 楽（器楽合奏）	教育芸術社	中学生の器楽
美 術	光村図書出版	美 術
保健体育	学研教育みらい	中学保健体育
技術・家庭（技術分野）	開隆堂出版	技術・家庭（技術分野）
技術・家庭（家庭分野）	開隆堂出版	技術・家庭（家庭分野）
英 語	東京書籍	NEW HORIZON English Course

※なお、採択された教科書は、区立教育研究所（神田さくら館7階）情報資料室で閲覧できます。
【電話】03-3256-8446

九段中等教育学校の出前授業

九段中等教育学校では、小中連携の一つとして、区内小学校高学年対象の出前授業を毎年行っています。各小学校からの要望にあわせ、専門の教員が出向いて中学校の授業を行います。今年度は三校から依頼がありました。

十月 九段小学校六年生 体育

小中陸上競技大会を前に、百メートル走、五十メートル走、ハードル走、走り幅跳び、走り高跳び、リレーなどを陸上専門の教員がポイントを押さえて指導しました。本校は休業日だったので、陸上部の生徒も加わり模範演技を披露することができました。

十一月 九段小学校五年生 古典

昔の仮名遣いの読み方を学習したあと、平安から鎌倉時代ごろの歌（古文）を実際に読んでみました。古典を読むと短歌がお話の中で大事な役割を果たし、日常生活の中でも短歌が身近な存在であることがわかります。

十一月 番町小学校六年生 数学・理科

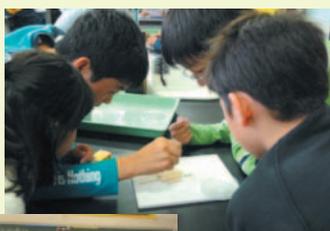
数学は、中学二年で行う二次関数の発展的内容の授業を行いました。東京スカイツリーからスーパーボールを落とすと地上まで何秒かかるかを、表から規則性をみつけて推測するものです。

理科は、「燃える」をテーマに、物質をよく燃やすために必要な条件は何か？について、自分たちで条件を設定して

実験で確かめました。先生の演示実験では、ある条件を加えると、勢いよく、または花火のようにパチパチと燃える様子に子どもたちの目も釘付けでした。

【番町小学校の児童の感想より】

（数学）ノートの書く量も先生が話す量もいつもより多かったですけれど、ノートを書くのが楽しくなるぐらい面白い授業でした。初めに話してくれた「数学とは何か」という話もなるほどと思えました。（理科）同じ材料で作られたものを、違う形にすると、燃えるものもあれば燃えなかったものもあって面白かったです。最後にやった小麦粉を使った実験が一瞬だったけれどすごかったです。もう一度見たいです。



一月には、麴町小学校の五、六年生を対象に理科実験を行う予定です。

子ども一人ひとりの教育的ニーズに合わせて —特別支援教育の推進—

■ 特別支援教育について ■

【特別支援教育とは】

障害のある子どもたち一人ひとりの可能性を最大限に伸ばし、自立と社会参加するために必要な力を培うため、適切な指導や支援を行うものです。

【公立学校における特別支援教育の制度】

特別支援教育は、障害による特別な支援を必要とする子どもたちが在籍するすべての学校・園において実施されるものです。

また、障害の種別・程度に応じ、専門的な指導を行う場として、次のような制度があります。

<特別支援学級>

障害の種別に応じた少人数学級において、障害のある子ども一人ひとりに応じた教育を行います。

- 知的障害 など

<通級による指導>

通常の学級に在籍しながら、障害の状態に応じた特別な指導を特別に設置した指導の場で行います。

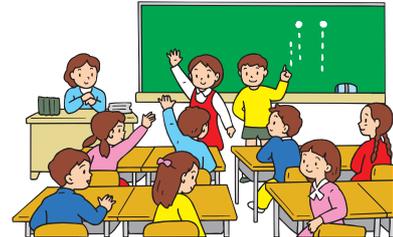
- 情緒障害
- 言語障害 など

<特別支援学校>

障害のある子どもを対象として専門性の高い教育を行う学校です。

- 幼稚園・小学部・中学部・高等部があります。
- 視覚障害、聴覚障害、知的障害、肢体不自由 など

千代田区立小学校では、千代田小学校に、特別支援学級と通級による指導の学級を設置しています。



◎ 中学校の特別支援学級が麴町中学校の新校舎完成に伴い変わります

平成24年4月から

- 特別支援学級は、現在の神田一橋中学校から麴町中学校に移転します。
- 通級による指導は、神田一橋中学校にこれまでと同様に設置します。なお、麴町中学校においても、校内の特別支援教室を活用して通級指導を行います。
- ※ 麴町中学校に在籍している生徒は、神田一橋中学校に従来から設置している通級指導学級か、麴町中学校に設置する校内の通級指導のどちらでも指導を受けることができます。

★なお、すでに中学校の学校選択書類を学務課に提出している小学校6年生の児童で、特別支援学級の設置の変更に伴って、学校選択の変更を希望される方は、学務課学務係へご相談ください。

●詳しい内容などについては、千代田区教育委員会事務局の下記へお問合わせを。

- ◎特別支援教育に関しては……指導課指導主事（千代田区役所4階） TEL 03-5211-4286
- ◎就学に関するご相談などは……児童・家庭支援センター（神田さくら館内） TEL 03-5298-2424
- ◎設置や学級編制に関しては……学務課学務係（千代田区役所4階） TEL 03-5211-4284
- 特別支援学級または校内通級指導教室の設置校
 - ・千代田小学校 TEL 03-3256-6768
 - ・麴町中学校 TEL 03-3581-6171（平成24年4月から）
 - ・神田一橋中学校 TEL 03-3265-5961

地域と繋がる児童館まつり 2011

区内の児童館で開催する「じどうかんまつり」は、子どもたちが仲間とともに行事を作り上げることを通じて、子どもたちの健全育成を図ることを目的に開催しています。同時に、児童の保護者や地域住民の参加を得ることで、地域における児童館活動への理解と協力を深めます。

じどうかんまつり in こうじまち

◆じどうかんまつり in こうじまちパート1 「よんばんちょうまつり」

四番町児童館 ★開催日：平成23年10月29日(土)
13:00～16:00 ★参加者：702名

麴町地区児童館で連携して実施する“じどうかんまつり in こうじまち”地域の皆さんと地域のネットワークを一同に結集し、子どもの実行委員スタッフによる館を挙げてのお買い物・ゲーム屋さん・レストラン屋さんごっこです。

地域の健全育成の拠点として、もっともオープンな児童福祉施設である児童館として、地域の方や、学童クラブ父母会、区内大学や高校のボランティアなどの協力をいただき、秋晴れの中、たくさんの子どもの笑顔が輝きました。



◆じどうかんまつり in こうじまちパート2 「いちばんちょうまつり」

一番町児童館 ★開催日：平成23年11月5日(土)
13:00～16:00 ★参加者：716名

昨年は台風の影響で開催時間を縮小して行った“いちばんちょうまつり”でしたが、今年は、おまつり実行委員の子どもたち、そして保護者や地域・学生ボランティア皆様のご協力を得て、たくさんの来場者を迎えることができました。

当日は、児童館らしい工夫を凝らしたゲームや品物のお店の他に、地域のボランティア方々の愛情がたっぷりつまった食べ物コーナー、そして千代田保健所の協力による「食育コーナー」等、大人も子どもも大満足なイベントとなりました。

2011西神田児童センター「にじまつり」

★開催日：平成23年11月5日(土) 12:30～15:30 ★参加者：550名

今年の「にじまつり」もにぎやかに開催されました。

地域の運営協議会の方々によるレストランをはじめ、小学生の実行委員によるゲームやさん、大妻女子大学や日本大学の学生ボランティアの皆さんのパネルシアターや手作りコーナーにゲーム、大人や子どもの手作りショップ、盛り上がった近隣の高校生達のバンド演奏など、ご近所の皆様・大学生・高校生・小学生のコーポで笑顔一杯のにじまつりとなりました。



神田児童館「わんぱくまつり」

★開催日：平成23年11月19日(土) 13:00～15:30 ★参加者：593名

朝からの大雨にもかかわらず、600人近い参加がありました。

オープニングのステージでは、乳幼児さんのかわいいお遊戯や小学生のダンスで盛り上がりました。

ゲームやさん、手作りおもちゃのお店では、小学生スタッフ、地域のボランティアのみなさんが大活躍でした。

毎年恒例の昌平コミュニティスクール運営委員会のおもちつき、万世橋地区更生保護女性会の葉っぱのしおり作り、学童クラブ保護者の駄菓子やさんなど、地域の協力のもと、わんぱくまつりは大成功に終わりました。



(仮称) 昌平幼保一体施設が開設します

区では、幼児教育のあり方検討会の報告書を踏まえ、乳幼児施設のあり方について検討してきました。

そこで、園児の減少傾向にある昌平幼稚園については、長時間保育を設けるとともに、幼稚園では対象とならない0～2歳児の認可外保育施設を併設した、(仮称)昌平幼保一体施設として平成24年4月に開設します。

0歳児から就学前までの子どもの成長や学びの連続性を考慮した質の高い幼児教育・保育を行い、義務教育である小学校教育に円滑に接続していきます。

(仮称) 昌平幼保一体施設 基本理念

- 小規模化した幼稚園の適正規模を確保するとともに、幼稚園と併設保育施設が連携し、0歳から就学前までの乳幼児期の子ども一人ひとりの心身の発達過程やその連続性を考慮し、子どもたちの生きる力の基礎を培うとともに、小学校教育への円滑な接続をめざします。
- 保護者の就労形態や幼稚園・保育所のニーズの変化を踏まえて、保護者や地域の皆さんと両施設が連携・協力して、子どもたちの健やかな育ちの場を創造します。
- 地域の子どもたちは地域で共に見守り、育てるとの認識に立って、保護者や地域の皆さんと連携・協力していきます。

(仮称) 昌平幼保一体施設 (外神田3-4-7 昌平童夢館1階)			
昌平幼稚園		小学館アカデミー昌平保育園	
	短時間保育	長時間保育	認可外保育施設
設置・運営	千代田区	千代田区	株式会社小学館集英社プロダクション
定員	3・4・5歳児 各10人	3・4・5歳児 各10人 ※平成24年度募集は、3歳児のみ	0歳児 5人 1・2歳児 各10人
保育時間	9時～13時30分 (～16時30分) 預かり保育	7時30分～18時30分 (延長保育はありません)	7時30分～18時30分 (延長保育はありません)
月額保育料	こども園・短時間保育料と同じ	こども園・長時間保育料と同じ	0歳児 80,000円 1・2歳児 各78,000円 ※認可保育所の入園要件を備えた世帯は、認可保育所を利用した場合と比較して、2割程度安くなる「保育料減額補助」があります。 ※別途、入園料21,000円が必要です。

(仮称) 昌平幼保一体施設 1F 平面図

昌平幼稚園の遊戯室・教材庫・廊下などを保育所に改修しました。



- 保育所部分 (約230m²)
- 幼稚園部分 (約770m²)
- ※ B1F 調理室面積を除く

【問合せ先】 子ども支援課計画主査 電話：03-5211-4229

インフルエンザを予防しましょう！

インフルエンザが本格的な流行シーズンを迎えました。
2009年には新型インフルエンザが大流行しましたが、季節型インフルエンザは毎年、この時期から流行し始め、3月上旬まで続きます。

日常生活におけるインフルエンザの予防

- ・外から帰ったときは、手洗い・うがいをしっかりしましょう。
- ・栄養バランスのよい食事をとりましょう。
- ・十分な睡眠をとりましょう。
- ・室内では加湿器などを使って適度な湿度（60％）を保つようにしましょう。
- ・不要な人混みは出来るだけ避けるようにしましょう。



正しく手を洗いましょう！

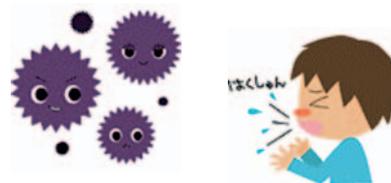
- ①流水で手をすすぎましょう
- ②しっかり石けんを泡立てて
- ③爪の間・指の間も忘れずに
- ④仕上げはしっかり手首まで
- ⑤石けんを流した後はペーパータオル(無ければ清潔なハンカチやタオル)で拭き取りましょう



「咳エチケット」を守りましょう！

インフルエンザは、多くの場合咳やくしゃみと共に放出されたウイルスを吸い込むことで感染します。

- ・咳・くしゃみのでる方はマスクをしましょう。
- ・咳・くしゃみのときは口と鼻を覆いましょう。



インフルエンザ予防接種を受けましょう！

予防接種は、もしインフルエンザにかかってしまった場合でも重症化を防ぐ効果があります。千代田区では区内在住の中学3年生以下のお子さんに、1回あたり2,100円の接種費用の助成をしています。

予防接種は効果が出るまで数週間かかりますので、接種を考えている方は早めに受けましょう。

予防接種に関するお問い合わせ：千代田保健所健康推進課保健予防係
☎ 03-5211-8172